

# 平成25年度 予算の概要 参考資料



学校法人愛知医科大学

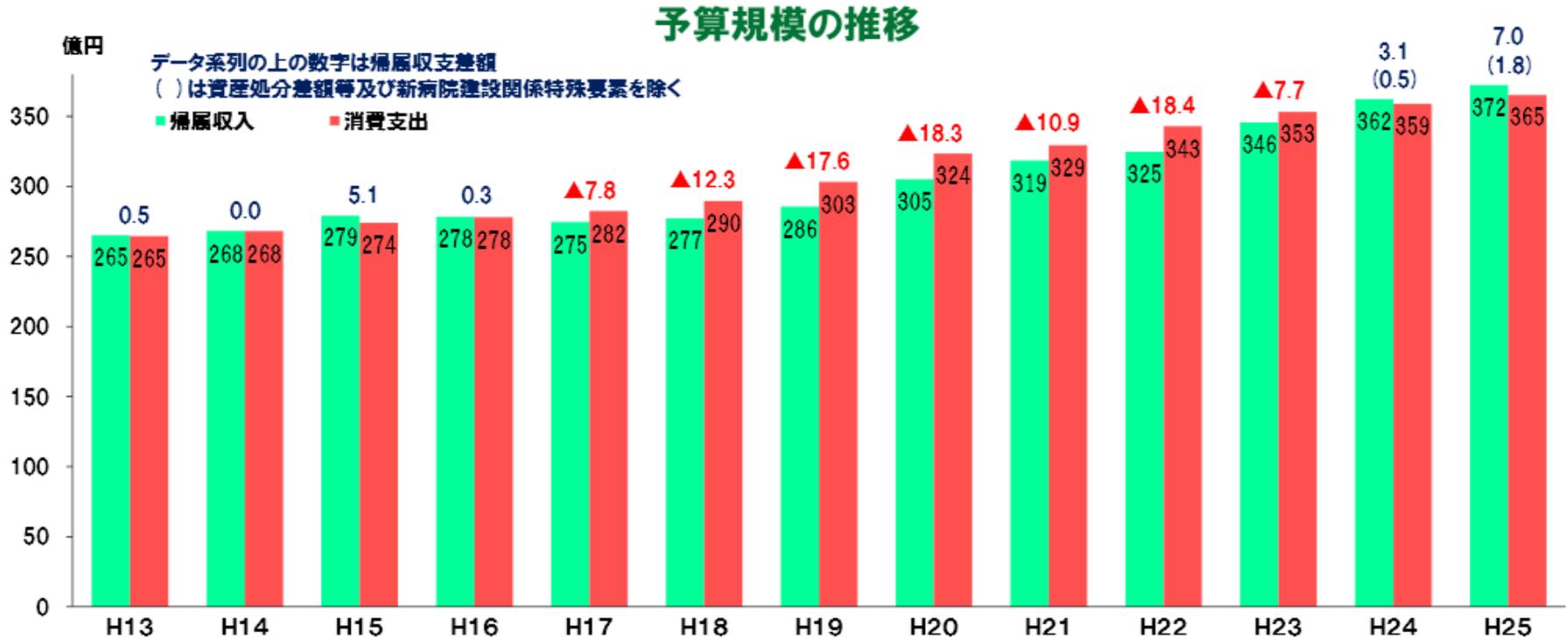
# 予算規模の推移

平成25年度の予算状況は、

**帰属収入 372億2,340万余円**

**消費支出 365億2,358万余円**

となっており、帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額は6億9,982万余円の収入超過となり、平成24年度から2年連続の黒字予算となっています。



※ 過年度の予算額は年度当初予算額である。

# 新病院建設事業を円滑に進めます。

予算額  
21,598,580千円

## 新病院建設事業 (15,649,466千円)

- 新病院棟建設事業
- CD病棟改修, AB病棟・救命解体工事
- 新病院ファシリティサービス



## 新病院1階寄附者芳名板等設置工事 (4,794千円)

## 新病院の医療機器等整備 (5,944,320千円)

- 重点整備機器 (PET・MRI・CTなど)
- 共同運用, 共通仕様機器 (生体情報モニタ, 人工呼吸器, 手術室映像システムなど)
- 各科・各部門特有機器 (内視鏡ビデオシステム, 生化学自動分析装置, 採血準備システムなど)
- 新病院関連一般調度・雑品 (家具什器, 家電製品, 看護備品など)
- 院内サイン (自動精算機の看板, 駐車場への案内, トイレ表示看板など)

新病院建設資金を円滑かつ効率的に確保していきます。

## 新病院建設資金

平成25年度は建設費の支払いが集中することから、約163億円の借入を予定しております。

福祉医療機構14,798,000千円

私学事業団 1,500,000千円

## 新病院建設に伴う 寄付金募集

平成25年度は目標額3億円としております。平成23, 24年度は主に教職員、同窓生及び在校生ご父兄への依頼を行ってまいりましたが、平成25年度は本学関連企業へと軸足を移しての募金活動に入ります。



163億円



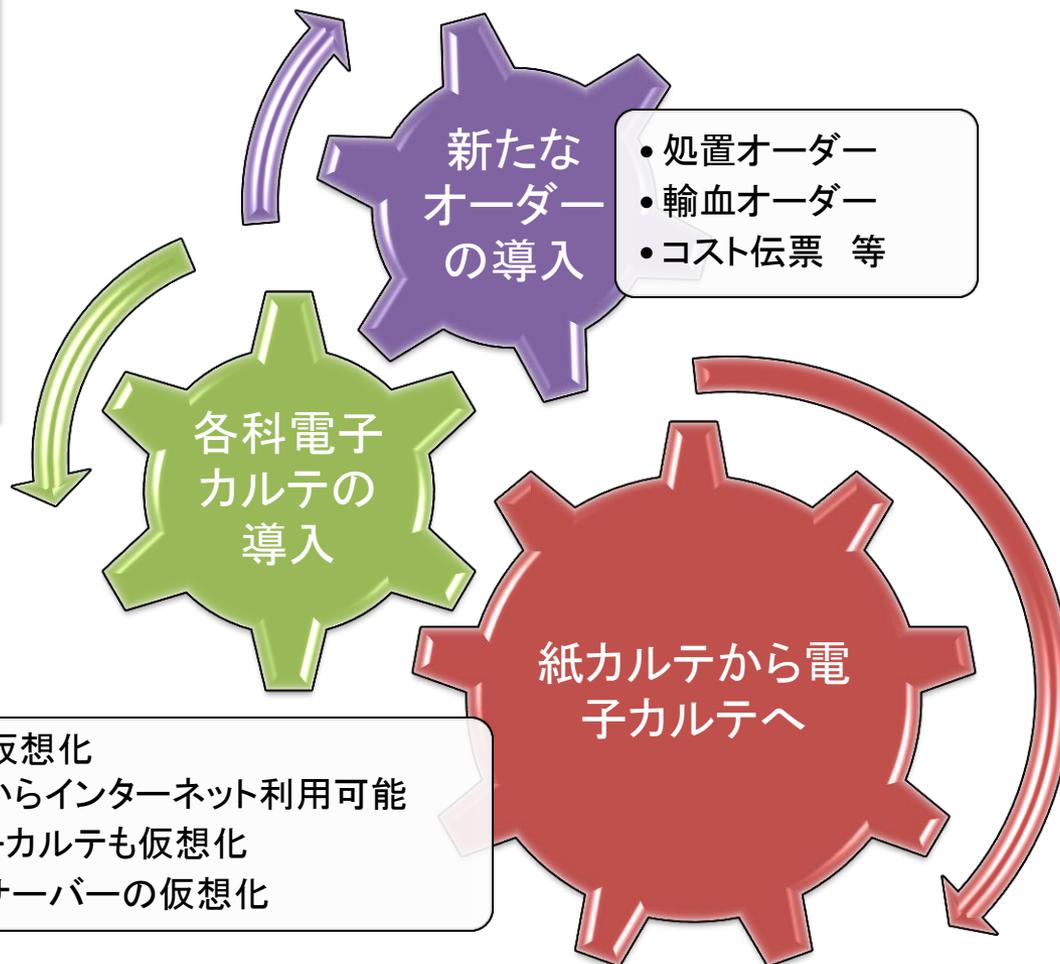
3億円



# 第1期(外来)電子カルテの導入 を行います。

予算額  
1,677,664千円

従来の医療情報システムに加え、シンクライアント技術を導入し、必要な医療情報が場所、時間を選ばずタイムリーに提供される。また、サーバーで電子カルテシステムと画像閲覧システムを稼働させて、クライアントPCに画面情報のみを転送して表示するため、実際の診療データの移動がなく、情報漏えいのリスクがきわめて小さくなる。



# 新病院に向けた業務を効率的に推進します。

予算額  
65,390千円

各分野の専門コンサルタントの活用・支援を受けて進めます

新病院運用・現病院経営  
(19,800千円)

新病院関連支援業務, 現病院経営改善  
運用マニュアル作成, 物流システム

物流システム・材料・鋼製小物  
(6,300千円)

滅菌機材(鋼製小物)の整備



医療機器・家具什器  
(24,150千円)

機器等の選定資料の作成, 機種選定・入札等の購入資料の作成,  
搬入・据付調整管理, 機器の整備明細の作成, 什器・看護備品・  
家電の整備及びファシリティサポート業務

医療情報システム

・医療情報システム導入開発, 部門ベンダーとの調整, トレーニン  
グ・リハーサル

給食システム  
(3,800千円)

新病院給食関連のミールシステム(基本レシピ作成, オーダリング  
& コンピュータシステム機能検証, HACCPの構築と検証等)の作  
成等

引越し・広報  
(11,340千円)

・移転計画書作成支援, 移行プロジェクトマネジメント  
・新病院の院内, 院外に向けた広報

# 新病院における診療体制の整備，強化等万全な準備をします。①

## 診療放射線技師の増員 4名

- フィルムレス化対応，新病院開院準備

## 薬剤師の増員 3名

- 医師への処方提案などのコンサルタント役を担い，医療の質，信頼性の向上，業務負担の軽減に取り組む。

## 用度関連業務委託 4名

- 新病院の物品を滞りなく調達する体制を確立 1年限定

## 診断書等作成代行のための増員 2名

- 新病院での全診療科代行記載を目指す

## 放射線治療装置設置に係る手続き (2,060千円)

- 新病院での放射線治療のための文部科学省への申請費用

## 総合物流システムの先行稼働 (7,917千円)

- 新病院での総合物流システム最重要部門の中央手術部で先行稼働



# 新病院における診療体制の整備， 強化等万全な準備をします。②

予算額①+②  
172,947千円

## 高精度放射線治療事業 教授(特任)1名

- 高精度放射線治療装置 (Novalis)を使った診療のため，脳神経領域の医師を配置

## 周術期集中治療部整備事業 麻酔科医3名

- 新病院での手術件数増加に対応し，質の高い術後管理を行う医療体制を整備

## プレ・プライマリケアセンター設立 講師1名

- 臨床教育の現場としてプライマリケアセンターを新病院で設置するため，段階的な改革を行う。

## 心大血管疾患，リハビリテーション部技師の増員 4名

- 脳血管疾患，運動器，廃用症候群，心大血管疾患のリハビリテーションを実施する

## 臨床検査技師の増員 3名

- 新病院開院による手術件数の増加に対応する。病理細胞診，超音波検査を強化

## 臨床工学技士の増員 4名

- 新病院に向けて体制を大幅強化し，専門特化した医療機器をサポートし，医療安全を確保。



# 新病院開院にむけた広報活動を強化します。

予算額  
13,850千円



## ホームページのリニューアル

- 現行ホームページを新病院の機能に合わせたわかりやすい内容にリニューアルします。(9,070千円)

## 大学ロゴマーク作成

- 本学の「シンボルマーク」を制定し、受験・就職希望者、患者及び関係企業に対し、PRマークとして活用します。(1,000千円)



## 中日新聞広報LINKED

- 中日新聞の企画に参画し、広く社会に対して啓発活動を展開し、その企画の中で、パンフレット等を作成し、愛知医科大学病院の認知度を高めます。(3,780千円)

高度で質の高い医療を提供し、  
増収に努めます。

予算額  
383,610千円

内科・外科の体制整備 6名増

超音波検査の強化 2名増

放射線科常勤医師の増員 3名増

看護師の採用枠拡大 65人増

がん化学療法システム導入(薬剤部門システムの一部)

医療安全を充実させます。



# 医学教育センター(AMEC)の 新規教員(助教)の増員

予算額  
10,170千円

医学教育の国際化の流れの中、本学が国際的競争に勝ち残るために、AMEC専任教員の人的整備を行い、本格的なAMECの活動を一層進展させ、次の目標の実現を図ります。

- 真の参加型臨床実習(CCS)の導入
- 国際化を視野に入れた臨床実習(BSL/CCS)の客観的評価制度導入
- Advanced-OSCE導入
- 4学年次;前倒し医学カリキュラムとして、case-basedな臨床推論教育手法の導入
- 1学年次;同窓生(先輩医師)を活用した屋根瓦方式の早期臨床体験実習
- 医業に対する適格性(FTP)評価法の導入



\* 写真は愛知医科大学医学教育センター ホームページから抜粋

# 医学部新カリキュラムの実施

## 全国医学部長病院長会議

- ・医師養成の現状の検証と改革実現のためのグランドデザインの提言
- ・医学教育機関認証制度の実施



## 新カリキュラムで対応

1コマ70分, 1日5コマに変更  
⇒グローバルスタンダードに準拠した臨床実習を実施する時間に割り当てる。

1学年次の科目として医療人入門を新たに設置  
⇒将来医療人として働くための自覚を早期に持たせる。

1学年次のearly exposureの時間数の増大  
⇒自主的な学習意識の啓発を促す。

基礎医学セミナーの復活  
⇒リサーチマインドを養う。

4学年次に臨床実習(\*SMET)の導入  
⇒結果, 臨床実習5,6年次で43週間から4,5,6年次で52週間に増える。

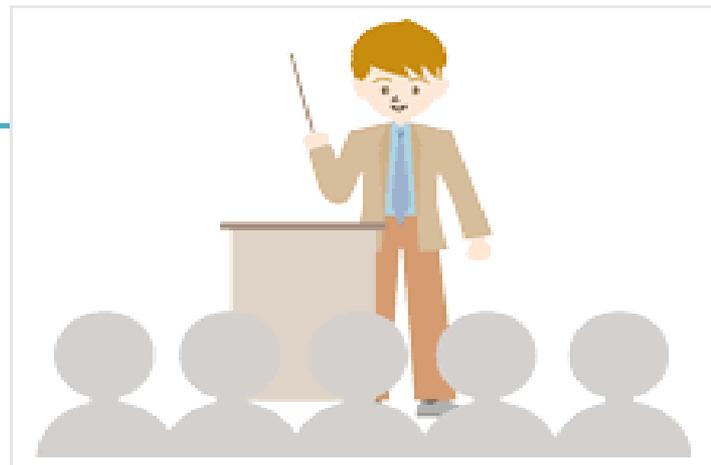
実習時間の増大に見合う臨床医学教員としても, 平成25年度増員する予定の教授1名, 准教授7名, 講師2名, 助教9名を活用

# 高度実践看護師を養成します。

予算額  
30,596千円

大学院看護学研究科に高度実践看護師養成課程を設置(30,596千円)

- 平成25年4月にクリティカルケア領域「周術期」を開設します。以後は、クリティカルケア領域の「救急(フライト)看護」、プライマリケア領域についても順次設置に向け、早期開設を目指します。



# 医学情報センター(図書館)学習環境の整備

予算額  
8,272千円



\*イメージ写真

## 個人用学習ブース40台設置 (4,618千円)

- 「医学部学生と学長・理事長との懇談会」で要望のあった学習スペースの増加に応えます。
- 個人で集中して勉強したいというニーズに対応します。



↑東日本大震災の名取市図書館被害状況

## 地震防災対策の実施 (3,654千円)

- 図書資料落下によるリスクである利用者のケガや避難経路の妨げになることの低減を図ります。(書架落下防止テープの装着, 書架転倒防止)

# オンライン医療情報サービスの導入

予算額  
2,709千円

## プロシージャーズ・コンサル ルト(1,103千円)

- 各診療科の基礎的な手技, 身体診察, 外科系基本手技の動画に加え, 画像と詳しいテキストで解説
- 臨床手技のデータベースを自己学習や臨床実習中の予習・復習等に活用する。

全日本大学図書館の各取市図書館被害状況

## ナーシング・スキル (1,606千円)

- 看護手順を映像で確認・習得するためのオンラインツール。  
標準的な看護技術を映像付きで収録されており、インターネットでいつでもどこからでも閲覧・確認できる。

どちらも, エルゼビア・ジャパン(株)のオンライン・コンテンツ

# 先進の研究と高度な医療を推進します

予算額  
168,000千円

## 先進医療 推進事業

医療水準の向上において重要な役割を果たすので、実績作りを支援します。(10,000千円)

## 基礎医学 振興費の 充実

専門研究分野の機器更新費用、研究室整備として活用していきます。  
(10,000千円)

## 寄附講座

造血細胞移植振興寄附講座(27,000千円)  
地域救急医療学寄附講座(30,000千円)  
臓器移植外科学寄附講座(50,000千円)  
腫瘍免疫寄附講座(35,000千円)  
分子標的医薬探索寄附講座(6,000千円)

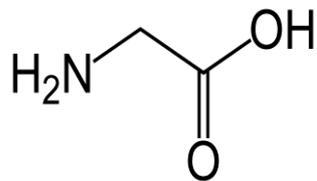
補助金を活用して研究環境の整備を行います。

予算額  
133,655千円

戦略的研究基盤形成支援事業

- ・ 致命的臓器障害に対する次世代分子標的治療法の開発（40,000千円）

“研究環境の整備”



生体タンパク・ペプチドアミノ酸配列情報解析システム（29,589千円）



非観血的実験動物病態画像解析システム（64,066千円）

# 運動療育センターのトレーニング機器を更新します。

予算額  
6,366千円

安全性・緊急性を考慮して、利用の促進を図ります。

活性化策の一環として、長久手市との共同事業、学内各講座等との研究活動を推進しており、トレーニング機器を利用する機会が増加傾向。老朽化したトレーニング機器を更新します。

(6, 366千円)



# メディカルクリニックの整備を行います。

予算額  
38,775千円

竣工から30年が経過し、老朽化した設備関係に対応します。



## 給水配管更新工事

(14,143千円)

- 赤水の発生などの老朽化が顕在化し、配管更新時期を迎えており、配管漏水の場合、クリニックやマンション住民にも影響を及ぼすため更新します。2年事業計画の2年目。（←写真は一階倉庫手洗いの赤水）



## 電気室低圧配電盤更新工事

(9,212千円)

- 機器構成材の老朽化による停電事故、二次災害を防ぎ、安定化電源の供給確保に努め、安全・安心な医療環境を保全します。2年事業計画の2年目。



## 非常用発電機更新工事

(15,420千円)

- 法定点検時での不起動などの形で老朽化が顕在化し、主要な機器部品も調達できない状況にあるので、更新して災害時などの停電に備えます。2年事業計画の2年目。

安全性・緊急性を考慮して、各種施設設備の整備事業を行います。

予算額  
307,770千円



### 2号館(研究棟)3号館(基礎科学棟)設備改修工事

(218,520千円)

- 2号館空調, トイレ, 電源, 照明器具及び3号館低圧配電盤



### 都市ガス設備整備工事

(73,500千円)

- 年数の経過とともに腐食の恐れがある既設の鉄管から、耐腐食性の高いポリエチレン管等に変更し、ガス漏れを防ぎます。



### 3号館(基礎科学棟)北面外壁改修工事(15,750千円)

- 経年劣化により室内に雨水が侵入している箇所が多数みられるため、外壁補修, 塗装, 建具補修などを行います。